

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：計画調整課
 担当名：SDGs推進担当
 内線：2133

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	埼玉版SDGs推進費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	埼玉版SDGs推進費	
事業期間	令和2年度～	根拠法令	なし				宣言項目		SDGsゴール
	令和12年度						分野施策		SDGsターゲット
1 事業概要	「誰ひとり取り残さない、持続可能な発展・成長する埼玉県づくり」を実現するため、多様なステークホルダーとの協働を通じてSDGsを推進する。 (1) 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの運営 会議開催回数削減による減 1,772千円 (2) 埼玉県SDGsパートナー登録制度の推進 事務費の節減等による減 874千円 (3) 埼玉版SDGs推進アプリの実施 契約差金による減 1,224千円 (4) 広報による普及啓発 契約差金及び事務費の節減等による減 839千円			5 事業説明					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(1) 事業内容 埼玉版SDGsを推進するため、全てのステークホルダーが自主的にSDGsに取り組める環境を全県的に整え、活動を支援していく。 ア 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの運営 2,396千円 企業・団体など産学官金等の連携構築の場の運営 イ 埼玉県SDGsパートナー登録制度の推進 2,348千円 自らSDGsに取り組む企業・団体等の登録制度の実施 ウ 埼玉版SDGs推進アプリの実施 12,244千円 ワンチーム埼玉でSDGsを推進するためのアプリを用いた個人県民参加制度の実施 エ 広報による普及啓発 1,687千円 埼玉県150周年記念事業をはじめイベント等でのパネル等を活用した普及啓発 (2) 事業計画 ・プラットフォームの会員企業・団体数の拡大を図る。(令和3年度末：累計800者) ・プラットフォームの分科会の設置や開催等を通じ、SDGsの実践に結びつける。 ・埼玉県SDGsパートナー登録者数の拡大を図る。(令和3年度末：累計400者) ・SDGsセルフチェックや、関心ある情報を選別して提供されるなど、県民のSDGsへの参加を促進するアプリを展開する。 ・普及啓発については、より県民に身近な市町村とも協力して実施する。 (3) 事業効果 ・県民及び県内企業・団体等のSDGsの認知度の向上 ・SDGsに取り組んでいる県民及び県内企業・団体等の増加 (4) 補正予算の概要 ア 埼玉版SDGs推進アプリに係る契約差金に伴う減額 イ 事務費の節減等による減額					
3 地方財政措置の状況									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.5名=33,250千円									
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,709							△4,709	11,381
現計額	16,090							16,090	